

写真講座

JRP 東村山支部主催

『アイヌ民族を撮り続けて』

講師：宇井眞紀子氏（東村山市在住写真家）

期日；2025年9月20日（土）

時間；15時45分～

会場；東村山市立中央公民館2F 第三集会室

東村山駅東口徒歩3分

資料代；1,000円

写真を撮ることは被写体との関係性を問うことです。好むと好まざるに関わらず作品には、自分が出てしまいます。これが写真の面白いことでもあり怖いところでもあります。気がつけば32年間アイヌの皆さんの撮影を続けています。撮り始めたきっかけや起こった問題や自分の立ち位置の大切さについてお話します。一方的に話すのではなく、質問していただき一緒に考えていけたらと思います。

（視点講座より引用）



略歴

武蔵野美術大学卒業、日本写真芸術専門学校卒業。学生時代から写真家・樋口健二氏に師事、1992年からアイヌ民族の取材に取り組む。主な写真に「アイヌ、100人のいま」「アイヌ、風の肖像」「眠る線路」「いのちの森に暮らすハンセン病療養所多磨全生園のいま」がある。第4回さがみはら写真新人奨励賞。第28回東川賞特別作家賞。第1回笹本恒子写真賞を受賞。日本写真家協会会員